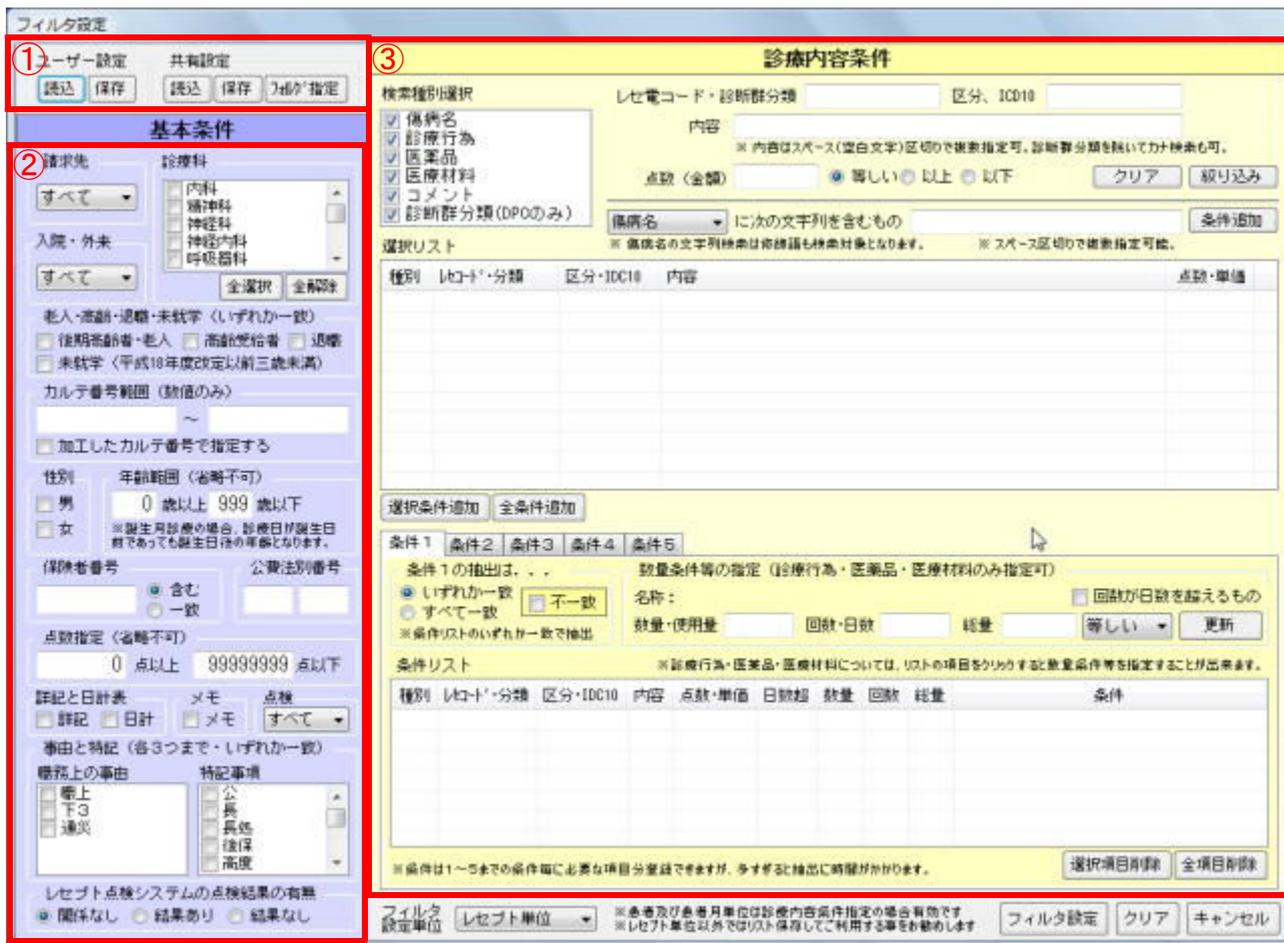


1. フィルタ設定画面について



フィルタ設定画面は大きく3つに分かれます。

- ① 設定情報 …… 画面上に設定された条件を保存、または保存内容を読み込みます。個人設定は各ユーザー毎に設定する内容、管理者設定は、管理者のみ保存でき、保存内容は、すべてのユーザーが読み込んで使用することができます。頻繁に使用する条件や、過去に査定や返戻を受けた条件を設定し、保存しておくとう便利です。
- ② 基本条件 …… レセプトの上書き部分や点数等の条件を指定します。基本条件のみでフィルタ設定（抽出）すると素早く目的のレセプトを抽出します。
- ③ 診療内容条件 …… 診療行為や傷病名、医薬品や使用量等の診療に係わる詳細項目を指定します。設定の仕方は次ページで説明します。

画面下部のフィルタ設定単位を変更すると、フィルタ抽出の仕方が変わります。

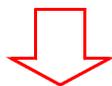
(患者単位および患者・月単位は診療内容条件指定時に有効な抽出方法です)

1. レセプト単位…指定された条件が一致するか、レセプトごとに判断します。指定された条件をすべて満たすレセプトのみ抽出されます。
2. 患者単位…患者単位の抽出は、1患者単位で読み込まれているすべてのレセプトを合わせて条件が一致するかを判断します。例えば、レセプトAのみで条件に一致しなくても、レセプトA+B+Cで一致する場合には抽出されます。
3. 患者・月単位…患者単位をさらに診療月ごとに分けて判断します。

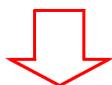
2. 診療内容条件の設定の仕方（マスタの項目を指定して設定する）

まず、診療内容をマスタから検索します。

- ① 検索対象のマスタを「検索種別選択」でチェックします。必要のないマスタはチェックを外してください。
- ② 画面右側の各入力欄にコード・診断群分類の一部又は全部、区分や ICD10 の一部又は全部、名称の一部（スペースで区切ると複数指定出来ます）を入力するか、点数を入力します。「絞り込み」ボタンをクリックすると入力された条件でマスタを絞り込み、該当する項目が、選択リストに表示されます。



- ③ 選択リストの中から、条件としたい項目を選択し、「選択条件追加」ボタンをクリックすると、条件リストに追加されます。条件1～条件5まで設定できるので、登録したい条件番号のタブをクリックしてからボタンをクリックします。「全条件追加」ボタンをクリックすると、選択リスト内のすべての項目が条件に追加されます。



④ 「条件 1 の抽出は...」で、条件リストに追加された項目のいずれかまたはすべてを選択します。また、リストにある項目を含まないとする場合は、「不一致」をチェックします。

⑤ 条件リスト内の項目をクリックすると、さらに数量等の詳細の条件を指定出来ます（診療行為・医薬品・医療材料のレセ電コードがあるもののみ）。項目をクリックすると、「数量条件等の指定」欄に項目名称が表示されます。数量・使用量、回数・日数、総量（同じ項目の合計）、または回数が日数を超えるものの指定をすることが出来ます。必ず、入力後は「更新」ボタンをクリックして条件を更新します。

⑥ 文字列条件

種別を選択し、診療名や傷病名、コメント等の”一部”を入力し、「条件追加」ボタンをクリックします。文字列はすべて入力する必要はありません。入力した文字列を含む診療や傷病名、コメント等が抽出の対象となります。

⑦ 条件 1～条件 5 のうち、複数指定した場合は、すべての条件が一致した場合に抽出されます。条件 1～条件 3 まで指定した場合は、条件 1 が一致、かつ条件 2 が一致、かつ条件 3 が一致の場合に抽出されます。

※次ページでは、基本条件を画面に設定してみます。

3. 設定例（基本条件のみ）

① 整形外科の外来のみの場合

フィルタ設定

ユーザー設定 共有設定

基本条件

診療科: 整形外科

入院・外来: 外来

点数指定 (省略不可): 0 点以上 99999999 点以下

診療内容条件

検索種別選択: 傷病名, 診療行為, 医薬品, 医療材料, コメント, 診断群分類 (DPCのみ)

レセコード・診断群分類: 区分・ICD10

内容: ※内容はスペース(空白文字)区切りで検索指定可。診断群分類を付けて検索も可。

点数 (金額): 等しい, 以上, 以下

風病名: に次の文字列をききもの

選択リスト

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価
選択条件追加 全条件追加				

条件1の抽出... 数量条件等の指定 (診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可)

いづれか一致, すべて一致, 不一致

名称: 数量・使用量, 回数・日数, 総量

等しい, 更新

条件リスト

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価	日数	数量	回数	総量	条件
※条件は1〜5までの条件毎に必要な項目を登録できますが、必ず必ず抽出に時間がかかります。									

選択項目削除 全項目削除

フィルタ設定単位: レセプト単位

※患者及び患者単単位は診療内容条件指定の場合有効です。レセプト単位以外ではリスト保存してご利用する事をお勧めします。

フィルタ設定 クリア キャンセル

② 20歳以上の女性で20万点以上の場合

フィルタ設定

ユーザー設定 共有設定

基本条件

診療科: 整形外科

入院・外来: 外来

性別: 女

年齢範囲 (省略不可): 20 歳以上 999 歳以下

点数指定 (省略不可): 200000 点以上 99999999 点以下

診療内容条件

検索種別選択: 傷病名, 診療行為, 医薬品, 医療材料, コメント, 診断群分類 (DPCのみ)

レセコード・診断群分類: 区分・ICD10

内容: ※内容はスペース(空白文字)区切りで検索指定可。診断群分類を付けて検索も可。

点数 (金額): 等しい, 以上, 以下

風病名: に次の文字列をききもの

選択リスト

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価
選択条件追加 全条件追加				

条件1の抽出... 数量条件等の指定 (診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可)

いづれか一致, すべて一致, 不一致

名称: 数量・使用量, 回数・日数, 総量

等しい, 更新

条件リスト

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価	日数	数量	回数	総量	条件
※条件は1〜5までの条件毎に必要な項目を登録できますが、必ず必ず抽出に時間がかかります。									

選択項目削除 全項目削除

フィルタ設定単位: レセプト単位

※患者及び患者単単位は診療内容条件指定の場合有効です。レセプト単位以外ではリスト保存してご利用する事をお勧めします。

フィルタ設定 クリア キャンセル

## 4. 診療内容条件について

診療内容条件では、請求（診療）内容を条件に設定します。入力の方法は説明しましたが、入力された内容でどのような抽出をするか説明します。

いずれか一致・・・条件リストの項目のいずれかが一致すれば抽出されます。

（（例） AまたはBの場合）

〃 （不一致）・・・条件リストの項目のいずれかが一致しない場合、抽出されません。

（（例） Aでない又はBでない場合）

すべて一致・・・条件リストのすべての項目が一致した場合、抽出されます。

（（例） AかつB）

〃 （不一致）・・・条件リストの項目のすべてが一致しない場合、抽出されます。

（（例） Aでなく、かつBでない）

## 数量等の条件について

診療行為、医薬品、材料については数量等の条件が指定できます。条件リストの項目をクリックすると編集することができます。

回数が日数を超えるもの・・・点数表で1日につき1回となっているものを実日数を超えて行っているものを調べる場合等に使用します。

（回数が日数を超えるものについては合計です）

数量・使用量・・・1回または1日の数量・使用量です。1度に使用する量や、薬剤量が保険診療の範囲を超えている場合、査定の対象となります。これを使用して、該当レセプトを抽出するのに使用します。

回数・日数、総量・・・実施回数が多すぎるものを探すために使用します。

（回数・日数、総量については合計です）

数量・使用量、回数・日数、総量については指定数値以上、または以下、または等しいの範囲条件を指定します。また、数量等の条件を入力したら「更新」ボタンをクリックし、リストを更新します。

※次ページでは、診療内容条件を画面に設定してみます。

## 3. 設定例（診療内容条件）

①胃・十二指腸ファイバースコープを算定しているが、胃または十二指腸の傷病名がない場合

条件1 条件2 条件3 条件4 条件5

条件1の抽出は...

いずれか一致  すべて一致  不一致

※条件リストのいずれか一致で抽出

数量条件等の指定（診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可）

名称:  回数が日数を超えるもの

数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト

※診療行為・医薬品・医療材料については、リストの項目をクリックすると数量条件等を指定することができます。

種別	レコード・分類	区分・IDC10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
診療	160093810	D308	EF-胃・十二指腸	1140.00					

まず、条件1へEF-胃・十二指腸を追加します。

条件1 条件2 条件3 条件4 条件5

条件2の抽出は...

いずれか一致  すべて一致  不一致

※条件リストのすべて不一致で抽出

数量条件等の指定（診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可）

名称:  回数が日数を超えるもの

数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト

種別	レコード・分類	区分・IDC10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
傷病			胃						
傷病			十二指腸						

次に、条件2へ傷病名のテキスト「胃」と「十二指腸」を追加します。「すべて一致」と「不一致」を選択します。

これで、胃・十二指腸ファイバースコープを算定しているのに、文字列「胃」が含まれる傷病名や、文字列「十二指腸」が含まれる傷病名がないレセプト（傷病名漏れ）が抽出されます。

② 静脈採血（1日1回）が診療実日数を超えるものの場合

条件1 条件2 条件3 条件4 条件5

条件1の抽出は...  
 いずれか一致  すべて一致  不一致  
 ※条件リストのいずれか一致で抽出

数量条件等の指定（診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可）  
 名称：   回数が日数を超えるもの  
 数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト ※診療行為・医薬品・医療材料については、リストの項目をクリックすると数量条件等を指定することができます。

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
診療	160095710	D400(1)	B-V	11.00	○				

これで静脈採血（B-V）が診療実日数を超えるレセプトが抽出されます。

条件1 条件2 条件3 条件4 条件5

条件2の抽出は...  
 いずれか一致  すべて一致  不一致  
 ※条件リストのいずれか不一致で抽出

数量条件等の指定（診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可）  
 名称：   回数が日数を超えるもの  
 数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト

種別	レコード・分類	区分・ICD10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
コト外			検査の為に来院						

B-Vが診療実日数を超え、「検査の為に来院」というコメントがないレセプトを抽出するには、さらに条件2へ、コメント文字列「検査の為に来院」を追加し、「不一致」をチェックします。

これでB-Vが診療実日数を超え、かつ、「検査の為に来院」のコメントがないレセプトを抽出します。

③同一月に処方せん料と調剤技術基本料を算定している患者

まず、基本条件についてはすべて条件指定を解除しておきます。

条件1の抽出は...

いずれか一致  すべて一致  不一致

※条件リストのいずれか一致で抽出

数量条件等の指定 (診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可)

名称:  回数が日数を超えるもの

数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト ※診療行為・医薬品・医療材料については、リストの項目をクリックすると数量条件等を指定することができます。

種別	レコード・分類	区分・IDC10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
診療	120002710	F400(1)	処方せん料 (7種類以上)	40.00					
診療	120002910	F400(2)	処方せん料 (その他)	68.00					

※条件は1～5までの条件毎に必要な項目分登録できますが、多すぎると抽出に時間がかかります。

条件1は処方せん料 (7種類以上) と処方せん料 (その他) のいずれか一致。

条件2の抽出は...

いずれか一致  すべて一致  不一致

※条件リストのいずれか一致で抽出

数量条件等の指定 (診療行為・医薬品・医療材料のみ指定可)

名称:  回数が日数を超えるもの

数量・使用量  回数・日数  総量  等しい

条件リスト

種別	レコード・分類	区分・IDC10	内容	点数・単価	日数超	数量	回数	総量	条件
診療	120001710	F500(1)	調基 (入院)	42.00					
診療	120001810	F500(2)	調基 (その他)	8.00					

※複雑な条件を指定する場合は、条件1から順に登録してください。間が空くとそれ以降の条件は無効となります。

フィルタ設定単位  ※患者及び患者月単位は診療内容条件指定の場合有効です ※レセプト単位以外ではリスト保存してご利用する事をお勧めします

条件2は調基 (入院) と調基 (その他) のいずれか一致。

フィルタ設定単位は患者・月単位を選択。

以上の設定で同一月に処方せん料と調剤技術基本料の両方を算定している患者を見つけることができます。

ただし、フィルタ設定単位で患者単位を指定した場合は、該当する患者のすべてのレセプトが抽出されます。また、患者・月単位を指定した場合は、該当する患者の診療月のレセプトをすべて抽出します。

抽出された内容はフィルタリストへ出力し、カルテ番号でソートして利用すると便利です。

※設定方法が分からない場合は、お気軽にお問い合わせ下さい。設定方法をご説明いたします。(条件設定が可能な場合に限りです)

※フィルタとエラーチェックを組み合わせると、使い方次第では更に高度なエラーチェックが出来るようになります。お試しください。